

## 「一期一会」に心はつながる 大和田さん、島村さん、そして会長

広報委員会委員長 福山裕治



新春のお喜び申し上げます。今年もよろしくお願い申し上げます。昨年を振り返ると、何かとお世話になった方達が委員会を退任されました。

11月には副委員長の 大和田敏男さん、また12月には各委員会でも数少ない女性委員である 島村祐子さん、お2人もまさに手探り状態から、広報委員会の立上げ時より汗を流して頂きました。本当にお疲れ様でした。

組織で活動する上では、出会い

と別れは付き物です。そんなお2人の個人的な印象を一言で表現すると「一期一会」だと感じています。一期一会の語源は「茶会に臨む際は、その機会を一生に一度のもの」と心得て、主客ともお互いに誠意を尽くせ」といった、茶会の心得から広く使われるようになりました。「一期」と「一会」をそれぞれ辿ると、「一期」は仏教用語で人が生まれてから死ぬまでの間を意味し、「一会」は主にひとつの集まりや会合を意味しています。

(出典 語源由来辞典)



島村さんの送別で、記念写真パチリ(左端が福山委員長)

広報委員会の会合をきっかけに、大和田さんには業界の最新情報と遊技台の特性について、誰よりも詳しく分かりやすい説明を受けたことが委員明活動に役立ちました。島村さんも異業種で培った経験をもとに、業界の慣例に流されない鋭い視点で議論ができる貴重な存在でした。退任されたとはいっても、これからも私たちと何らかの形で繋がっていくことと思います。



の言葉をいただき、期待の大きさに身の引き締まる思いで一杯でした。本当にありがとうございます。パチンコ産業に携わる人たちが、横断的な組織の中で切磋琢磨して業界の発展のために力を合わせることで、より一層の連帯感や目的意識を強くして行く決意を改めて認識いたしました。

今年の干支は辰年です。広報委員会の活動も3年目を迎えるこの年に、新任の会員も仲間入りして天高く昇る龍のごとく飛躍を目指します。

もうひとつの「一期一会」は、12月に行われた弊社フェイスグループ本社竣工記念パーティーに、お忙しい中、深谷友尋会長自らお越し頂き心温まるご挨拶と乾杯のご発声を頂戴したことです。

お話の中で、一番印象に残ったのは「日頃から日遊協広報委員長として業界発展に尽力していただいています」という労いの言葉をいただいたことでした。日遊協理事会で広報委員会の提案に対してご意見をいただき、後押ししてくださる深谷会長の懐の深さに感動したことを思い出しました。深谷会長をはじめ大勢の方達に励まし

新年の抱負としては、昨年の日遊協10大ニュースで第8位に取り上げて頂いた実績をもとに、業界の認知度向上に一役かう「第2回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクール」の成功をまず掲げておきます。

広報委員会や業界の広報支援活動も新たな一歩を踏み出していきます。とは言っても、物事にはメリハリが大切です。いつも本音で議論できる集まりも必要ですので、何かと理由をつけて今年も委員会後の懇親会は欠かせません。